

冷凍車 保冷車 クーリング車

取扱説明書

別冊 注文装備品編

よくお読みになってご使用ください。
取扱説明書は車の中に大切に保管してください。

はじめに



このたびは冷凍車／保冷車／クーリング車の注文装備品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

本書は冷凍車／保冷車／クーリング車を安全・快適にお使いいただくため、冷凍車／保冷車／クーリング車に関して正しい取り扱いを説明してあります。




また、注文装備品はお客様の御注文により異なりますので、お客様の冷凍車／保冷車／クーリング車に該当する装備品のところをお読みください。

- 車両の一般的な取り扱いについては、標準車の「取扱書」（別冊）をご覧ください。
- 販売店で取り付けられた装備の取り扱いについては添付されている取扱書をご覧ください。

「運転者や他の人が傷害を受ける可能性のあること」とその回避方法を下記の表示で記載しています。これらは安全のために特に重要ですので、必ず読んで遵守してください。

 警告	記載事項をお守りいただかないと、生命にかかわるような重大な傷害、事故につながるおそれがあること
 注意	記載事項をお守りいただかないと、傷害、事故につながるおそれがあること

お車のために必ず守っていただきたいことや知っておくと便利なこと、してはならない行為を示すイラストは、下記の表示で記載しています。

 アドバイス	お車の故障や破損を防ぐために守っていただきたいこと お車が故障したときにしていただきたいこと
 知識	知っておくと便利なこと 知っておいていただきたいこと
	してはならない行為

- ・ お車をゆずられるときは次のオーナーのために本書をお車につけておいてください。
- ・ ご不明な点は担当営業スタッフにおたずねください。

- 目次 -

まず読みましょう	2
----------------	---

各部の名称	4
-------------	---

専用装置、装備の使い方	5
-------------------	---

バックドア・サイドドア	5
カーテン	17
間仕切り	18
荷室内台車固縛装置	26
ラッシングレール&ベルト	27
作業灯	30
オゾン式脱臭装置	30
輪止め・タイヤチェーン掛け	31
バックモニター	32
リヤ折りたたみ式ステップ	33

手入れ、点検・整備項目	34
-------------------	----

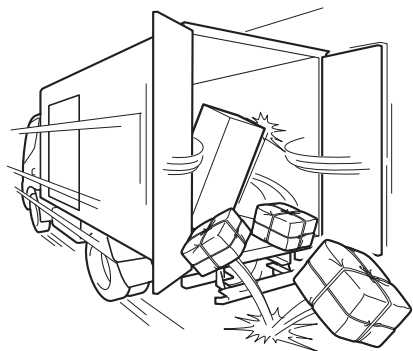
車の手入れ	34
簡単な点検	37

まず読みましょう

確認しましたか？

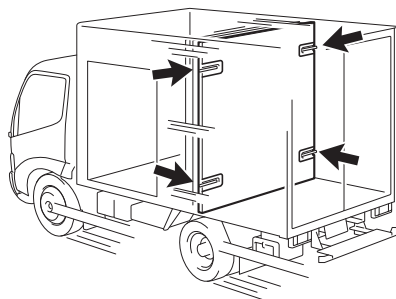
走行前にすべてのドアが確実にロックされていることを確認してください。

確実にロックされていないと、走行中にドアが開き、積荷の落下など思わぬ事故につながるおそれがあります。



移動式間仕切りを移動させたときは、走行前にストッパピンが確実にはいっていることを確認してください。

確実にはいっていないと、走行中に間仕切りが移動し、荷物を破損するなど思わぬ事故につながるおそれがあります。



移動式間仕切りを移動させるときは、平坦な場所で空荷のときに行ってください。また、移動させる前に間仕切りの向こう側に人がいないことを確認してください。

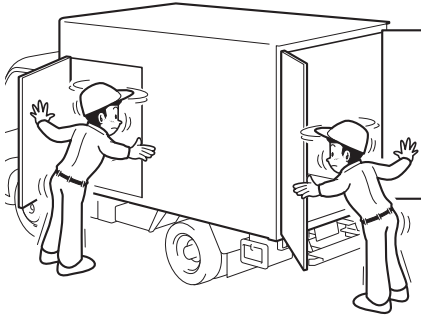
間仕切りが不意に動き、手足を挟むなど思わぬ事故につながるおそれがあります。



危険です！

バックドア、サイドドアを閉じるときは、必ず庫内に人がいないことを確認してください。

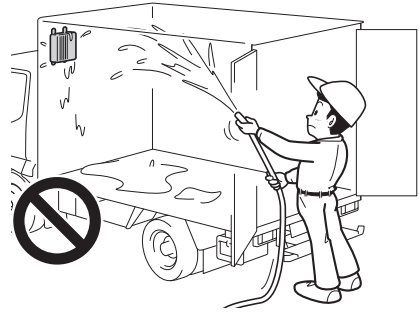
庫内に人が閉じこめられると、中からドアを開けることができなかった場合に重大な事故につながるおそれがあり危険です。



洗車するときは

オゾン式脱臭装置には、直接水をかけないでください。

オゾン式脱臭装置の故障の原因となります。

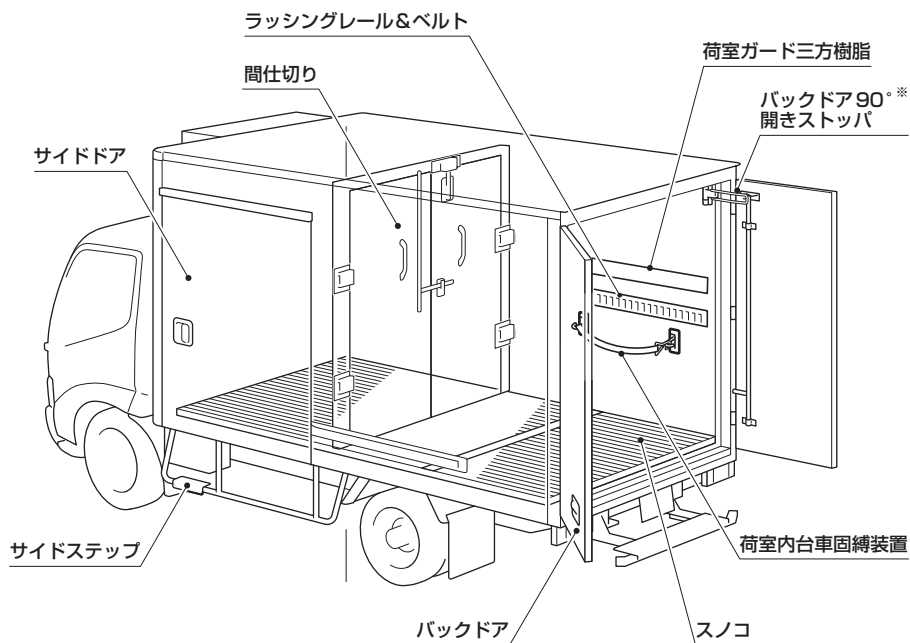


ドアを全開したときは、必ずドアストッパーで固定してください。

風などで不意にドアが動いたり、傾斜地では自然にドアが動くことがありドアだけがをすおそれがあります。



各部の名称



※バックドア 90° 開きストップは左右のドアに装備されます。

専用装置、装備の使い方

バックドア・サイドドア

⚠ 警告

- ドアを閉めるときは、必ず庫内に人がいないことを確認してください。庫内に人が閉じこめられると、中からドアを開けることができなかった場合に、重大な事故につながるおそれがあります。
- 車から離れるときは、必ず庫内に人がいないことを確認し、ドアを閉め施錠してください。誤って人が庫内に閉じこめられると、中からドアを開けることができなかった場合に、重大な事故につながるおそれがあります。また、盗難のおそれもあります。

⚠ 注意

- ドアを開けたときは、必ず90°開けた位置または全開位置でドアを固定してください。固定しないと風などにより不意にドアが動いたり、傾斜地では自然にドアが動くことがあります、ドアだけがをるおそれがあります。
- ドアを閉めたときは、ドアを軽くゆさぶり、確実に閉まっていることを確認してください。確実に閉まっていないと走行中にドアが開き、積荷の落下など思わぬ事故につながるおそれがあります。

参照ページについて

バックドア 90° 開きストッパ	6
バックドア 90° 開きストッパ簡易型	7
ダブル (シングル) ハンドル内蔵式バックドア	8
3枚バックドア	9
バックドア非常用ハンドル	10
保冷シャッター	11
スライド式サイドドア	14
オープン式サイドドア	16

バックドア 90° 開きストッパ

左右開き式バックドア装着車

バックドア 90° 開きストッパは左右のドアに装備されます。

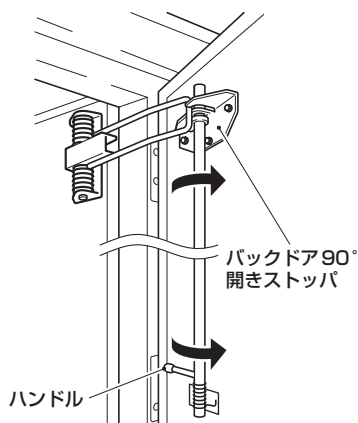
■ 固定のしかた

バックドアは 90° 開いたところでロックされます。

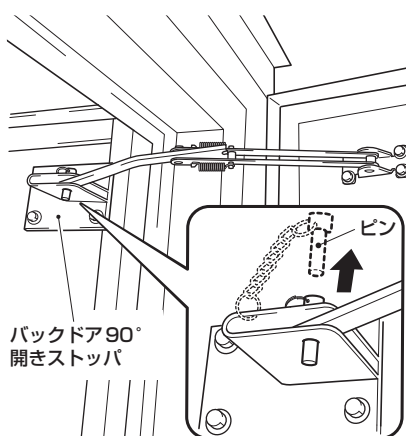
■ 全開のしかた

全開にしたときは、必ずドアストッパでドアを固定してください。

1 ナンバークラス



4 ナンバークラス



- ① いったん 45° 開いた状態でハンドルを手前に回します。
- ② 90° 開きストッパをはずして全開にします。

ピンをぬき、90° 開きストッパをはずして全開にします。

⚠ 注意

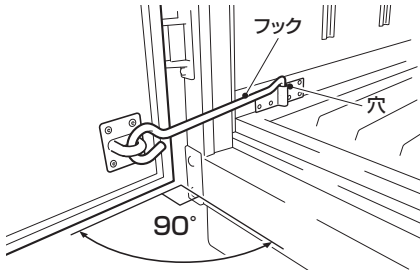
バックドアを開けたときは、必ず以下の状態でドアを固定してください。固定しないと風などにより不意にドアが動いたり、傾斜地では自然にドアが動くことがあり、ドアでけがをするおそれがあります。

- 90° 開きストッパでロックされる位置までドアを開ける
- 全開したときはドアストッパでドアを固定する

バックドア 90° 開きストッパ簡易型

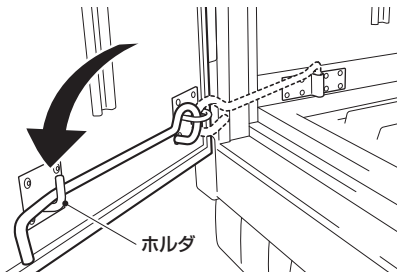
左右開き式バックドア装着車

バックドア 90° 開きストッパは左右のドアに装備されます。



■ 固定のしかた

- ① バックドアを約 90° 開きます。
- ② フックをホルダから取り出し、ボデー側の穴に差し込みます。



■ 全開のしかた

- ① フックをボデー側の穴から引き抜き、ホルダにもどします。
- ② バックドアを全開にします。全開にしたときは、必ずドアストッパでドアを固定してください。

⚠ 注意

バックドアを開けたときは、必ず以下の状態でドアを固定してください。固定しないと風などにより不意にドアが動いたり、傾斜地では自然にドアが動くことがあり、ドアだけがするおそれがあります。

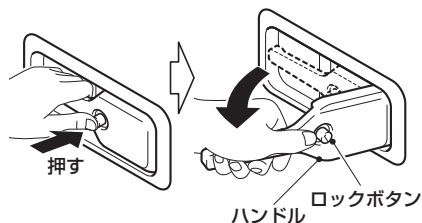
- 90° 開いた状態で使用するときには、バックドア 90° 開きストッパでドアを固定する
- 全開したときはドアストッパでドアを固定する

👉 アドバイス

バックドア 90° 開きストッパを使用しないときは、必ずフックをホルダにもどしてください。

- フックをボデー側に穴に差し込んだまま無理にドアを動かすと、フックおよびボデーが破損するおそれがあります。
- フックをホルダにもどさずにドアを閉めると、フックをドアに挟み、フックおよびドアが破損するおそれがあります。

ダブル（シングル）ハンドル内蔵式バックドア



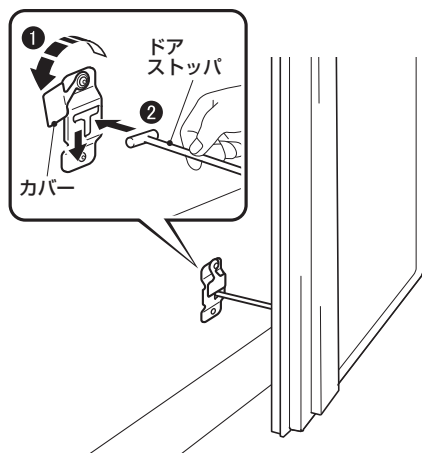
■開け方

ロックボタンを押してハンドルのロックを解除し、ハンドルを手前に引いてドアを開けます。

●左ドア→右ドアの順で開けます。

■知識

ハンドルをドア側へ押しながらロックボタンを押すと、軽く操作できます。



■閉め方

ハンドルを起こしたままドアを閉め、“カチッ”と音がするまでドアを押します。

●右ドア→左ドアの順で閉めます。

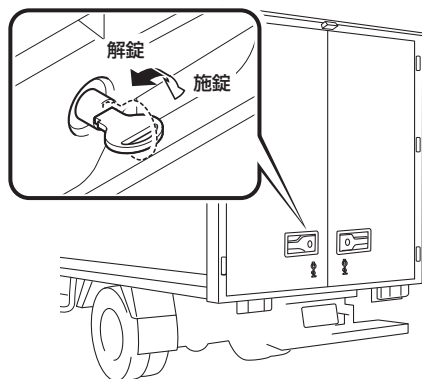
●ドアが確実にロックされていることを確認してください。

■全開・固定のしかた

バックドアを全開したときは、ドアストッパで固定してください。

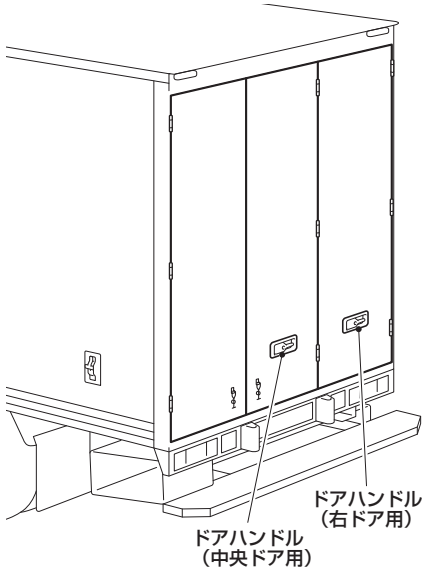
①カバーを開け（①）、ドアストッパを固定部に差し込みます（②）。

②カバーを閉めます。



■施錠のしかた

キーをシリンダ錠に差し込み、右に回転させると施錠、左に回転させると解錠されます。



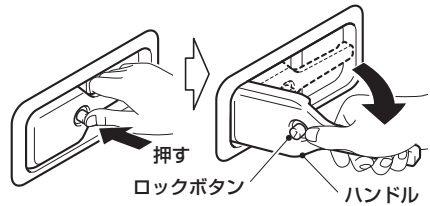
3枚バックドア

■開け方

中央ドア・右ドア

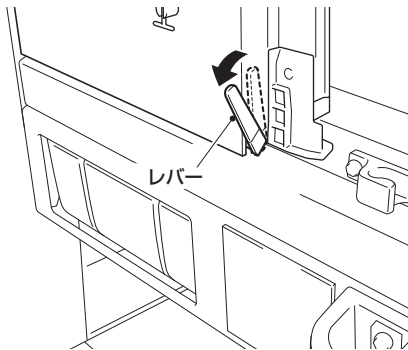
ロックボタンを押してハンドルのロックを解除し、ハンドルを手前に引いてドアを開けます。

- 中央ドアを開けてからでないと、右ドアを開けることはできません。



知識

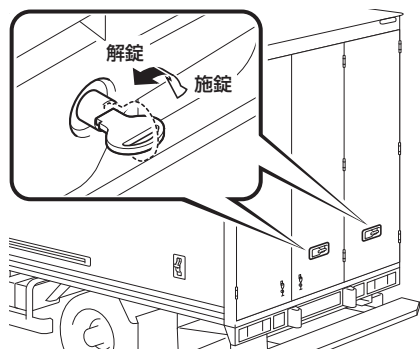
- ハンドルをドア側へ押しながらロックボタンを押すと、軽く操作できます。
- 右ドアだけを開けることはできません。(中央ドアだけを開けることはできます)



左ドア

レバーを手前に引いてロックを解除し、ドアを持って開けます。

- 中央ドアを開けてからでないと、左ドアを開けることはできません。



■ 施錠のしかた

中央ドア・右ドア

キーをシリンダ錠に差し込み、右に回転させると施錠、左に回転させると解錠されます。

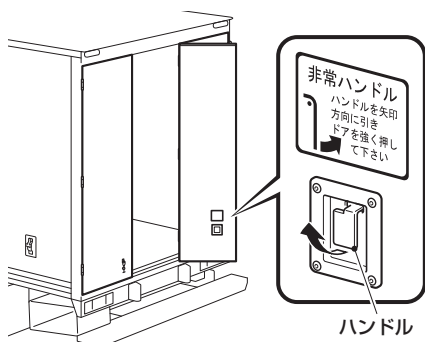
バックドア非常用ハンドル

ダブル（シングル）ハンドル内蔵式 バックドア・3枚バックドア装着車

万一、庫内に閉じこめられたとき、庫内からバックドアを開けることができます。

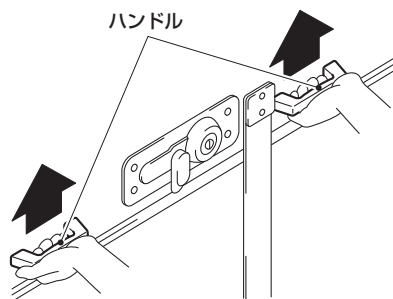
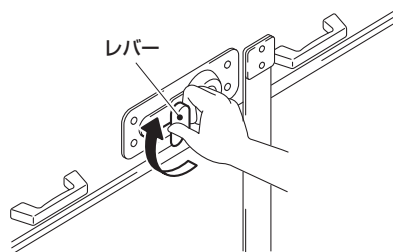
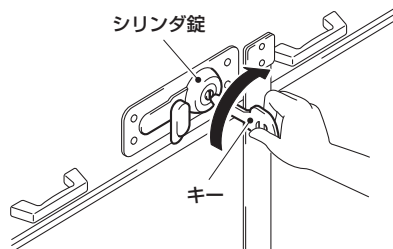
■ 開け方

ハンドルを手前に引き、ドアを強く押します。



■ 知識

非常ハンドルは先に開くバックドアに装備されます。万一に備え、取り付け位置等を確認しておいてください。



保冷シャッター

■ 開け方

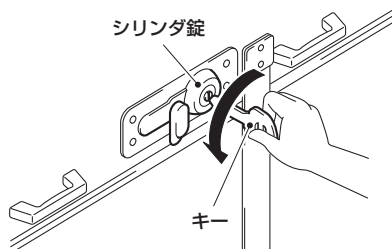
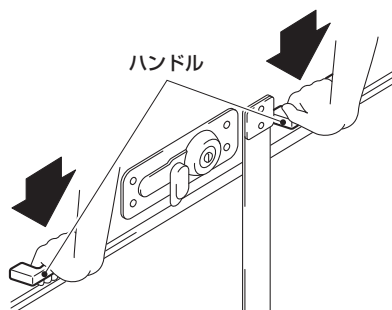
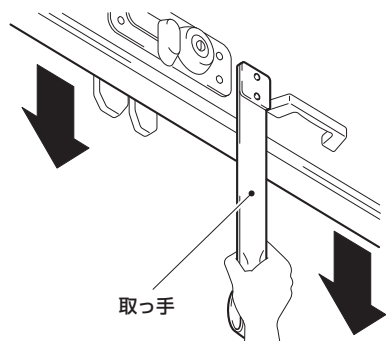
- ① キーをシリンダ錠に差し込み、右に90°回転させ、解錠します。
- ② キーを抜き取り、レバーを右に90°回転させ、ロックを解除します。
- ③ ハンドルを持ち、ドアを上へ押し上げます。
 - 全開にすると自動的にロックされます。

⚠ 注意

シャッターを開閉するときには、必ずハンドルを持って行き、パネルとパネルの間には絶対に手を入れないでください。パネルとパネルの間で手をはさまれ、けがをするおそれがあります。

👉 アドバイス

ドアを上へ押し上げる前に、必ずキーをシリンダから抜き取ってください。キーを差したままドアを上へ押し上げると、キーがリヤ枠と干渉してキーが曲がり、ウェザーストリップの損傷につながるおそれがあります。



■閉め方

①取っ手(引きひも)を持ち、ドアを下へ引き下ろします。

②ハンドルを持ち、ドアを完全に閉めると自動的にロックされます。

⚠注意

シャッターを閉めるときは確実にロックしてください。確実にロックされていないと走行中にシャッターが開き、積荷が落下するなど思わぬ事故につながるおそれがあります。

また、シャッターを開けたまま走行すると、ワイヤ切れにつながるおそれがあります。

■施錠のしかた

キーをシリンダ錠に差し込み、左に90°回転させると施錠されます。

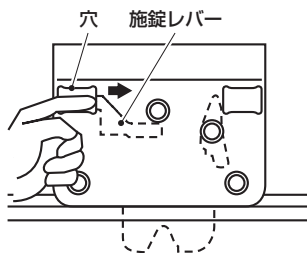
●施錠後、キーをもとの位置にもどし、キーを抜き取ります。

室内側からの施錠と解錠

■施錠のしかた

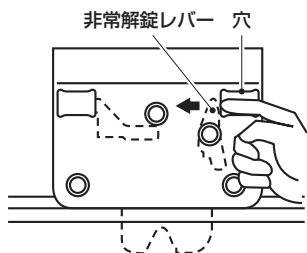
室内側ロックの左の穴に指を差し込み、施錠レバーを右方向に動かすと施錠されます。

- 施錠レバーを操作してからドアを閉めると、ロックと同時に施錠もされます。



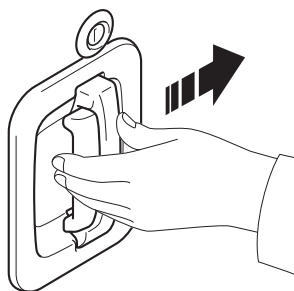
■解錠のしかた

- ①室内側ロックの右の穴に指を差し込み、非常解錠レバーを左方向に動かすとロックが解除されます。
- ②ドアを上押し上げると開きます。



🎓 知識

- 施錠されていてもロックは解除されません。非常解錠レバーが固い場合は、ドアを下に押し下げながら操作してください。
- 万一の場合にそなえて、非常解錠レバーの作動点検を行ってください。



スライド式サイドドア

■ 開け方

ハンドルを握り、後方へ引くとロックがはずれてドアが開きます。

- 全開まで開けると、ストッパスプリングで固定されます。

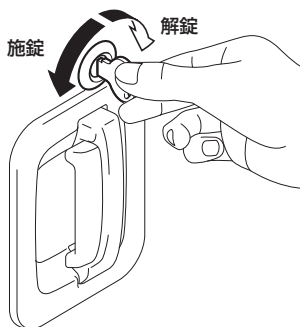
⚠ 注意

作業をするときは、必ずサイドドアを全開にしてください。傾斜地では自然にドアが動くことがあり、けがをするおそれがあります。

■ 閉め方

ハンドルを持ってドアを全閉させるとドアがロックされます。

- 半ドアまで閉めるとイージークローザーが作動します。(次ページ参照)



■ 施錠のしかた

キーをシリンダ錠に差し込み、左に回転させると施錠、右に回転させると解錠されます。

イージークローザー

ドアを半ドアの位置まで閉めると、自動的にドアが動き、全閉になります。

⚠ 注意

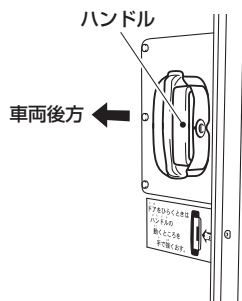
半ドア状態のときドアが自動的に閉まるため、指を挟まないよう十分注意してください。

👉 アドバイス

イージークローザーの作動中は無理な力をかけないでください。無理な力をかけるとイージークローザーの故障の原因となります。

🎓 知識

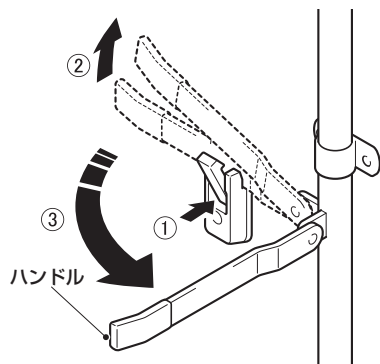
ドアハンドルを引いたままドアを閉めると、イージークローザーは作動しないことがあります。



サイドドア非常用ハンドル

非常ハンドルはサイドドア内側にあります。

- ハンドルを握り、後方へ引くとロックがはずれてドアが開きます。
- ドアの施錠に関係なく開けることができます。



オープン式サイドドア

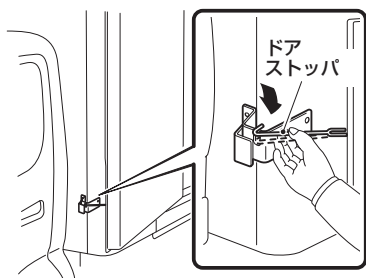
■ 開け方

ワンタッチキーの下側を押し (①)、ハンドルを持ち上げたまま回し (②)、手前に引きます (③)。

■ 閉め方

ハンドルをワンタッチキーに差し込みます。

●自動的にロックされます。

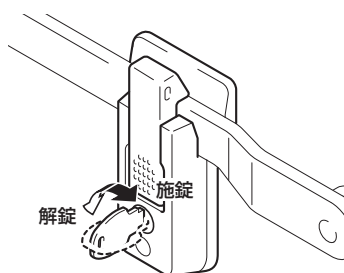


■ 固定のしかた

ドアを全開にしたときは、ドアストッパを固定部に差し込み、ドアを固定します。

■ 知識

仕様により、取り付け方法が異なります。



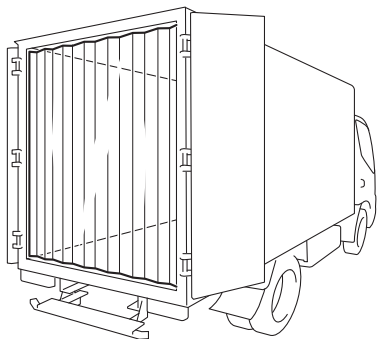
■ 施錠のしかた

キーをシリンダ錠に差し込み、右に回転させると施錠、左に回転させると解錠されます。

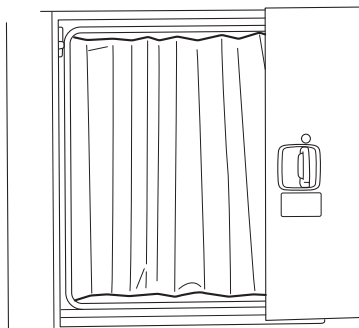
カーテン

庫内の保冷効果を高めます。積荷のあるときは閉めておいてください。

バックドア用



サイドドア用



⚠ 注意

ドアを閉めるときは、カーテンを巻き込んでいないことを確認してください。カーテンを巻き込んだままドアを閉めると、確実にドアがロックできず、走行中にドアが開き、積荷の落下など思わぬ事故につながるおそれがあります。また、冷気が逃げ、積荷が損傷するおそれがあります。

👉 アドバイス

庫内の温度維持のため、カーテンは必ず閉めてください。カーテンを開けた状態でドアを開けたままにすると、冷気が漏れて室温管理ができなくなり、庫内の温度が上昇するおそれがあります。

間仕切り

警告

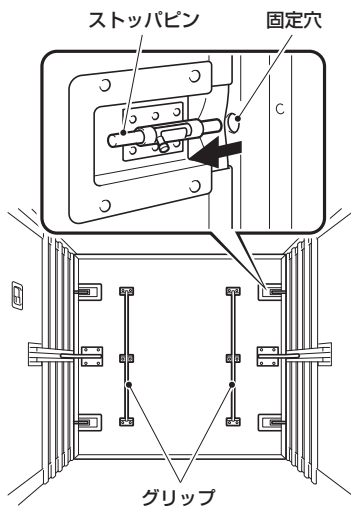
間仕切りを閉めるときは、必ず間仕切りの向こう側に人がいないことを確認してください。間仕切りの向こう側に人が閉じこめられると、中から間仕切りを開けることができず、重大な事故につながるおそれがあり危険です。

注意

- 間仕切りを移動・脱着および開閉するときは、平坦な場所で空荷のときに行ってください。また、間仕切りの向こう側に人がいないことを確認してから行ってください。間仕切りが不意に動き、手足を挟むなど思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 走行前に間仕切りが確実に固定されていることを確認してください。確実に固定されていないと、不意に間仕切りが動きだし、積荷を損傷するなど思わぬ事故になるおそれがあります。

参照ページについて

移動式間仕切り.....	19
移動式間仕切り〈ワンタッチタイプ〉.....	20
観音扉間仕切り.....	21
観音扉移動式間仕切り.....	21
ソフト脱着式間仕切り.....	23



移動式間仕切り

庫内のスペース配分を変更するとき、移動させます。

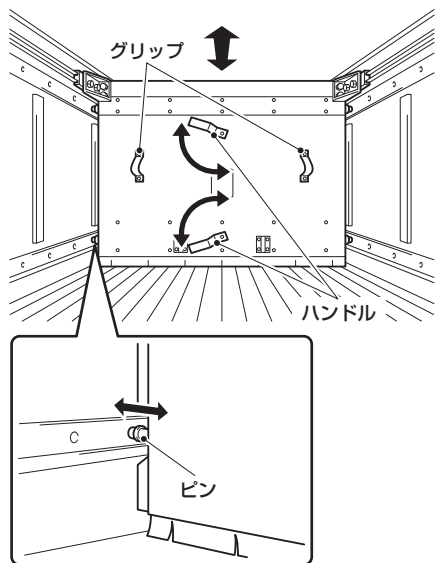
■ 移動するとき

ストップピン (4カ所) をはずし、グリップを持ってスライドさせます。

■ 固定するとき

壁面のレールの固定穴にストップピン (4カ所) を差し込んで固定します。

- グリップを持って間仕切りを軽くゆさぶり、確実に固定されていることを確認してください。



移動式間仕切り(ワンタッチタイプ)

庫内のスペース配分を変更するとき、移動させます。

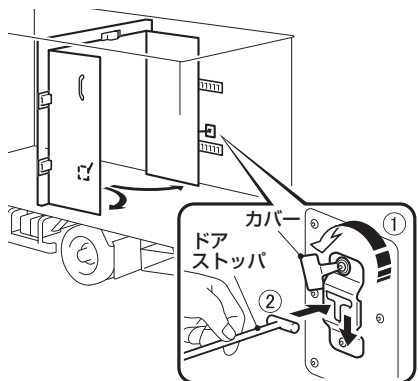
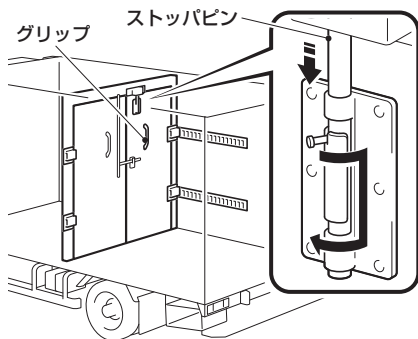
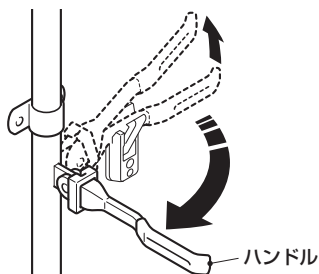
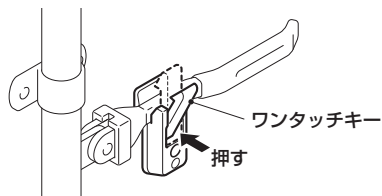
■ 移動するとき

上下2カ所のハンドルをまわしてロックをはずし、グリップを持ってスライドさせます。

■ 固定するとき

上下2カ所のハンドルを元の位置までもどします。

- このとき、壁面のレールの穴にピンがはまっていることを確認します。
- グリップを持って間仕切りを軽くゆさぶり、確実に固定されていることを確認してください。



観音扉間仕切り 観音扉移動式間仕切り

■左ドアの開け方

- ①ワンタッチキーの下側を押します。
- ②ハンドルを持ち上げたまま回し、手前に引きます。

■右ドアの開け方

🎓 知識

左ドアを開けないと、右ドアを開けることはできません。

- ①上部のストップピンをはずします。
- ②グリップを引いてドアを開けます。

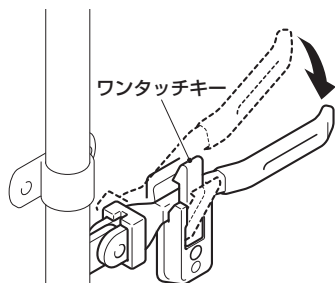
■全開・固定のしかた

カバーを開け ①、ドアストップを固定部に差し込みます ②。

●移動式の場合は、一番前・一番後ろのいずれかの位置でのみ固定できます。

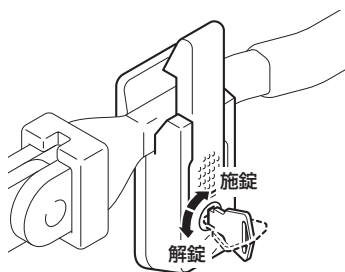
⚠️ 注意

間仕切りドアを全開にしたときは、必ずドアを固定してください。傾斜地では自然にドアが動くことがあり、けがをすることがあります。



■ 閉め方

- ① 右ドアを閉め、ストッパピンを差し込みます。
- ② 左ドアのハンドルをワンタッチキーに差し込みます。
 - 自動的にロックされます。
 - 間仕切りドアを軽くゆさぶり、ドアが確実に固定されていることを確認してください。



■ 施錠のしかた

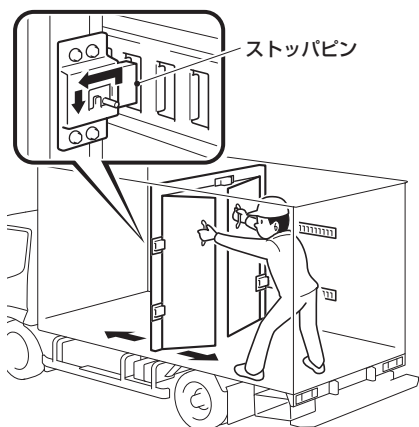
キーをシリンダ錠に差し込み、右に回転させると施錠、左に回転させると解錠されます。

■ 移動、固定するときは

観音扉移動式間仕切り

庫内のスペース配分を変更するとき、移動させます。

- ① 間仕切りドアを開けます。



知識

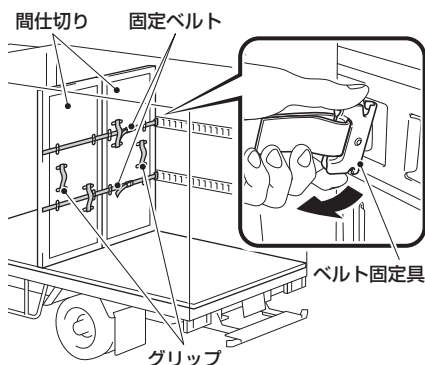
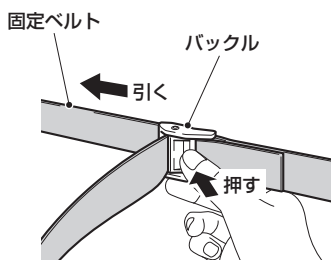
間仕切りを移動させるときは、必ず間仕切りドアを開けてください。軽い力で間仕切りを移動させることができます。

- 間仕切りドアを閉めたままと気密性が高いため、空気抵抗により移動が困難です。
- ② ストッパピン（4カ所）をはずし、グリップを持ってスライドさせます。
 - お好みの位置で壁面のレールの固定穴にストッパピンを4カ所とも差し込んで固定します。
 - ③ 間仕切りドアを閉めます。

ソフト脱着式間仕切り

⚠ 注意

- 間仕切りの固定ベルトで積荷の固定をしないでください。間仕切りが確実に固定されず、間仕切りが倒れて積荷の損傷や思わぬ事故につながるおそれがあります。
- スノコと同時装着されたとき
間仕切りを脱着・移動される場合は、スノコを外してから移動させてください。スノコを装着したままの状態では足元の段差でつまずき、思わぬ事故につながる恐れがあります。



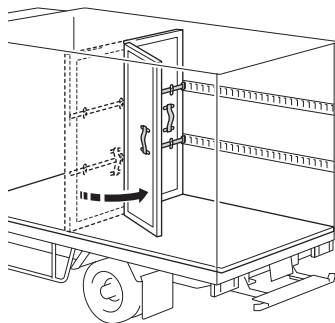
■ 片側のみ開けるときは

間仕切りは左右どちらからでも開けることができます。

⚠ 注意

間仕切りを開ける前に、必ずすべての固定ベルトのベルト固定具が確実にロックしていることを確認してください。確実にロックしていないと、間仕切りを開けたとき、閉まっている側の固定ベルトのベルト固定具のロックがはずれた場合、間仕切りが倒れ思わぬ事故につながるおそれがあります。

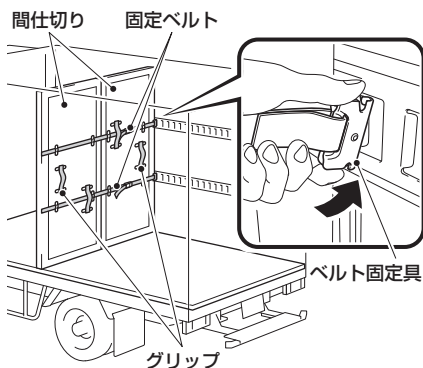
- ① 固定ベルトのバックルを押したままベルトを引き、ベルトを伸ばします。(上下とも)
- ② 開ける側の固定ベルトのベルト固定具のストッパピンを引いたまま、ベルト固定具を斜め下に向けてレールの固定穴から引き抜きます。(上下とも)



- ③ グリップを持ち、間仕切りを開けます。

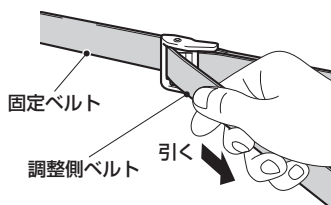
⚠ 注意

間仕切りは開けた状態で固定されません。傾斜地で間仕切りを開けた場合、間仕切りドアが動くおそれがありますので、特に注意してください。



■ 閉めるときは

- ① グリップを持ち、間仕切りを閉めます。
- ② 固定ベルトのベルト固定具のストッパピンを引いたまま、ベルト固定具を斜め上にしてレールの固定穴に差し込み、ストッパピンから指を離してベルト固定具をロックさせます。(上下とも)

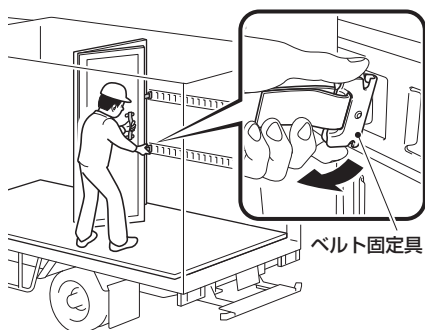


- ③ 調整側ベルトを引き、確実に固定します。(上下とも)
 - グリップを持って間仕切りを軽くゆさぶり、確実に固定されていることを確認してください。

脱着のしかた

次のような場合に、間仕切りを脱着します。

- 庫内を 1 室で広く使うとき
- 庫内のスペース配分を変更するため、間仕切りを移動させるとき



■ 取りはずし方

- ① 23 ページの方法で片側の間仕切りを全開にします。
- ② 片方の手でグリップを持ち、もう片方の手で固定ベルトのベルト固定具のストッパピンを引いたまま、ベルト固定具を斜め下に引き抜きます。
 - ベルト固定具の引き抜きは下→上の順で行います。
- ③ 両手でグリップを持ち、間仕切りを動かして取りはずします。

■ 取りつけ方

庫内左右のレール穴のお好みの位置で取りつけることができます。

- 取りはずしたときと逆の手順で行います。
- 間仕切りの固定ベルトのベルト固定具は左右同じ位置に取りつけてください。
- 取りつけた後はグリップを持って間仕切りを軽くゆさぶり、確実に固定されていることを確認してください。

⚠ 注意

間仕切りを脱着するときは、固定ベルトのベルト固定具の取り付け・取りはずしは必ず以下の順序で行ってください。逆の順序で行うと間仕切りが倒れ、思わぬ事故につながるおそれがあります。

- ベルト固定具をははずすとき
..... 下側→上側
- ベルト固定具を差し込むとき
..... 上側→下側

荷室内台車固縛装置

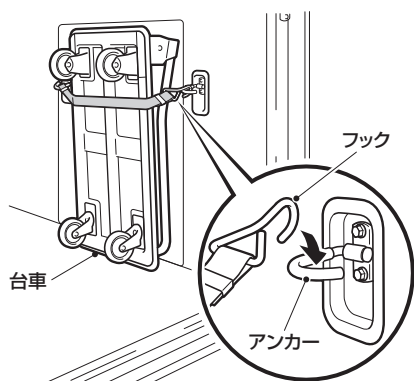
荷室内後部に台車を格納・固縛することができます。

■ 固縛可能な台車のサイズ

長さ	幅
900mm	600mm

■ 台車の格納・取り出し

- 台車を格納するときは、台車を立てた状態で、荷室右側のベルトで固縛します。
- 台車を固縛しないときは、ベルトのフックをアンカーに引っかけておきます。

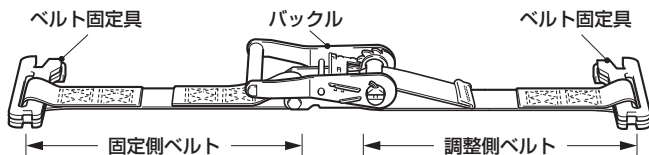


👉 アドバイス

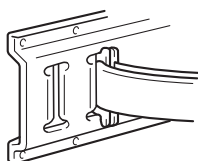
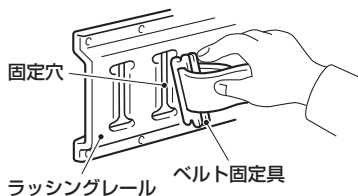
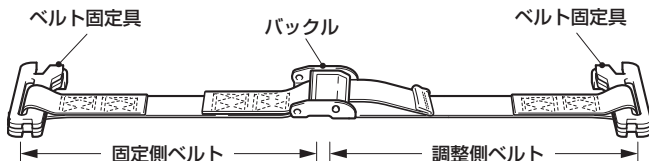
- 台車を固縛したときは、台車を軽くゆさぶり、台車が倒れないことを確認してください。台車が倒れると積荷・台車および荷室内板を損傷するおそれがあります。
- 台車を固縛しないときは、ベルトのフックをアンカーに引っかけてください。ベルトを放置しておくと、フックが積荷および荷室内板に当たり、損傷するおそれがあります。

ラッシングレール&ベルト

重荷重タイプ



軽荷重タイプ

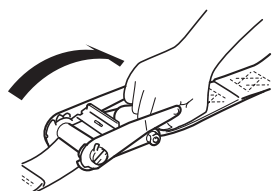
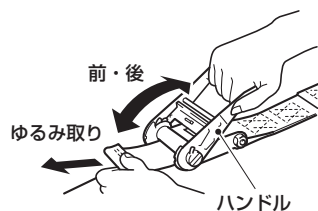


■ベルト固定具（3枚一組）の使い方

- ① 固定具中央の1枚の上端を人差し指で手前に引いたまま、左右の2枚を固定穴の上部に差し込んだ後、下側を差し込みます。
- ② 中央の一枚を押し込みます。
- ③ ラッシングレールの固定穴の中で3枚が結合して取り付けができます。

■取りはずし方

中央の1枚を取りはずし、次に左右の2枚を取りはずします。



■ 締め方

重荷重タイプ

- ① 調整側ベルトのゆるみを取り、ハンドルを前後に操作し、ベルトを巻き取りながら締めます。
 - ベルトは巻き取り軸に2回以上巻き取ります。
- ② ハンドルを完全に倒し、ロック状態にします。
 - 中間状態では使用しないでください。

軽荷重タイプ

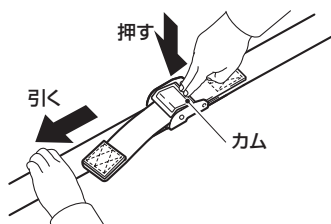
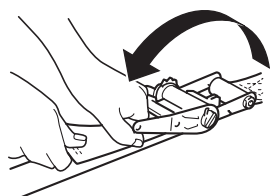
調整側ベルトを矢印の方へ強く引いて締めます。

■ ゆるめ方

重荷重タイプ

調整側ベルトを引きながらハンドルを180°ほど開きます。

- 巻き取り軸が開放状態となりベルトがゆるみます。



軽荷重タイプ

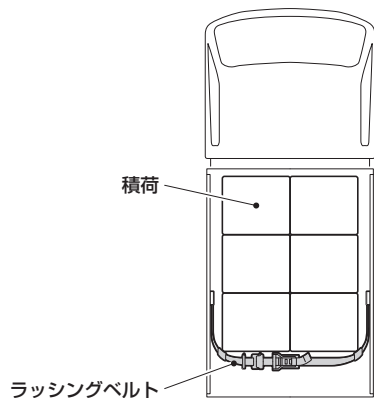
カムを押して、ベルトをゆるめます。

- カムを押しながら調整側ベルトを矢印の方へ引くと、さらにゆるみます。

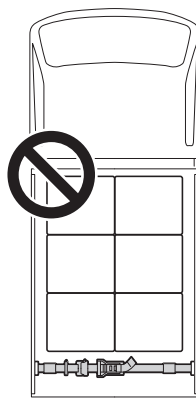


アドバイス

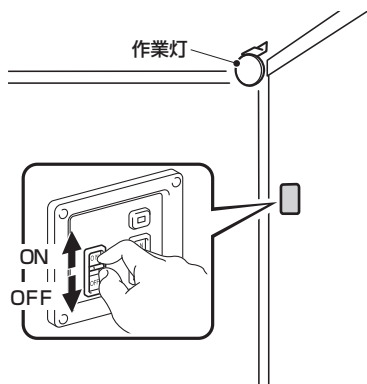
ベルトを水平にかけないでください。荷室内の壁をはがしてしまうおそれがあります。



<良い例>



<悪い例>



作業灯

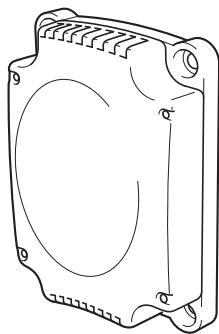
ON バックドアを開けたとき点灯し、閉めると消灯します。

OFF ドアの開閉に関係なく消灯します。

アドバイス

- 作業終了後や長期間車を 사용하지 ときは、必ずスイッチを「OFF」にしてください。バッテリーあがりの原因となります。
- 点灯回数で寿命が変わります。必要なとき以外は「OFF」にしてください。
- ルームランプの「ON」「OFF」に連動します。

オゾン式脱臭装置



積荷の有無に関係なく、エンジンスイッチ「ON」で運転、「ACC」または「LOCK」で停止します。

アドバイス

以下の注意事項を守ってください。オゾン式脱臭装置の故障の原因になります。

- 装置本体に直接水をかけないでください。
- 触媒の交換以外に内部装置にふれないでください。
- 脱臭効果が低下した場合は触媒を交換してください。

■ 触媒の交換

本装置の触媒は、通常の使用状態で2年に1度触媒の交換が必要です。

2年に満たない場合でも脱臭効果が低下した場合は触媒を交換してください。

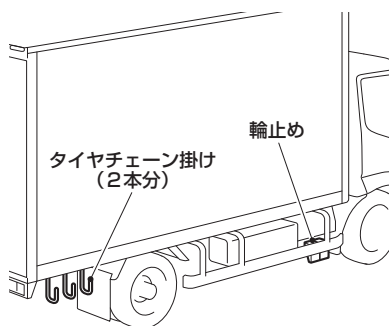
(36 ページ参照)

輪止め・ タイヤチェーン掛け

ボデー下部に装備されます。

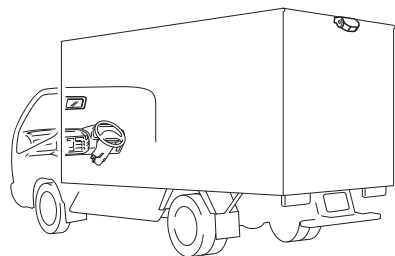
⚠ 注意

- 走行前に輪止めが確実に収納されていることを確認してください。収納が不完全の場合、走行中に輪止めが落下し、後続車や人に当たるなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- タイヤチェーン掛けには3本以上のチェーンを掛けないこと、また均等に掛かっていることを確認してください。掛け方が不安定な場合、走行中にチェーンが落下し、後続車や人に当たるなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。



🎓 知識

仕様により、取り付けができない、または、位置がイラストと異なる場合があります。



バックモニター

ここでは簡単な取り扱い方法のみ記載してありますので、詳しい取り扱いにつきましては、お客様のお車に装備されたバックモニターの取扱書をお読みください。

■バックギヤ連動（自動）の場合

バックギヤにいとると自動的に画像を映し出します。

■連続（手動）の場合

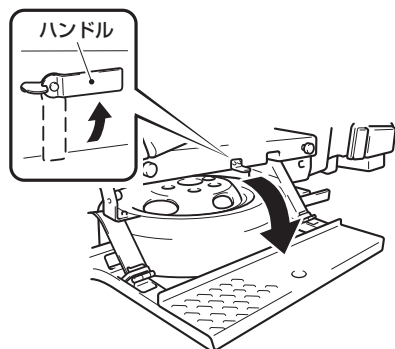
バックモニターのスイッチを「ON」にすると画像を映し出します。

⚠ 注意

バックモニターの画面だけを見ながら後退することは絶対にしないでください。カメラが映し出す範囲には限度があり、画面だけを見て後退すると車をぶつけたり、思わぬ事故につながるおそれがあります。後退するときは、必ず後方および周囲の安全を直接確認してください。

🎓 知識

バックモニターの種類により、操作方法、機能等が異なる場合があります。



リヤ折りたたみ式ステップ

使用するときにはハンドルを左にまわし、ステップを引き倒します。

● 格納するときには逆の手順で行います。

手入れ、点検・整備項目

車の手入れ

故障を減らして長く大切に使うためにお手入れをお願いします。

保冷シャッターの手入れ

■ 日常の手入れ

シャッターカーテンおよびガイドレールに雨等により泥、ほこりが付着すると、シャッターの動きが重くなります。汚れがひどいときは濡れた布等で汚れを落としたあと、かたくしぼった布等で水分をふき取ってください。

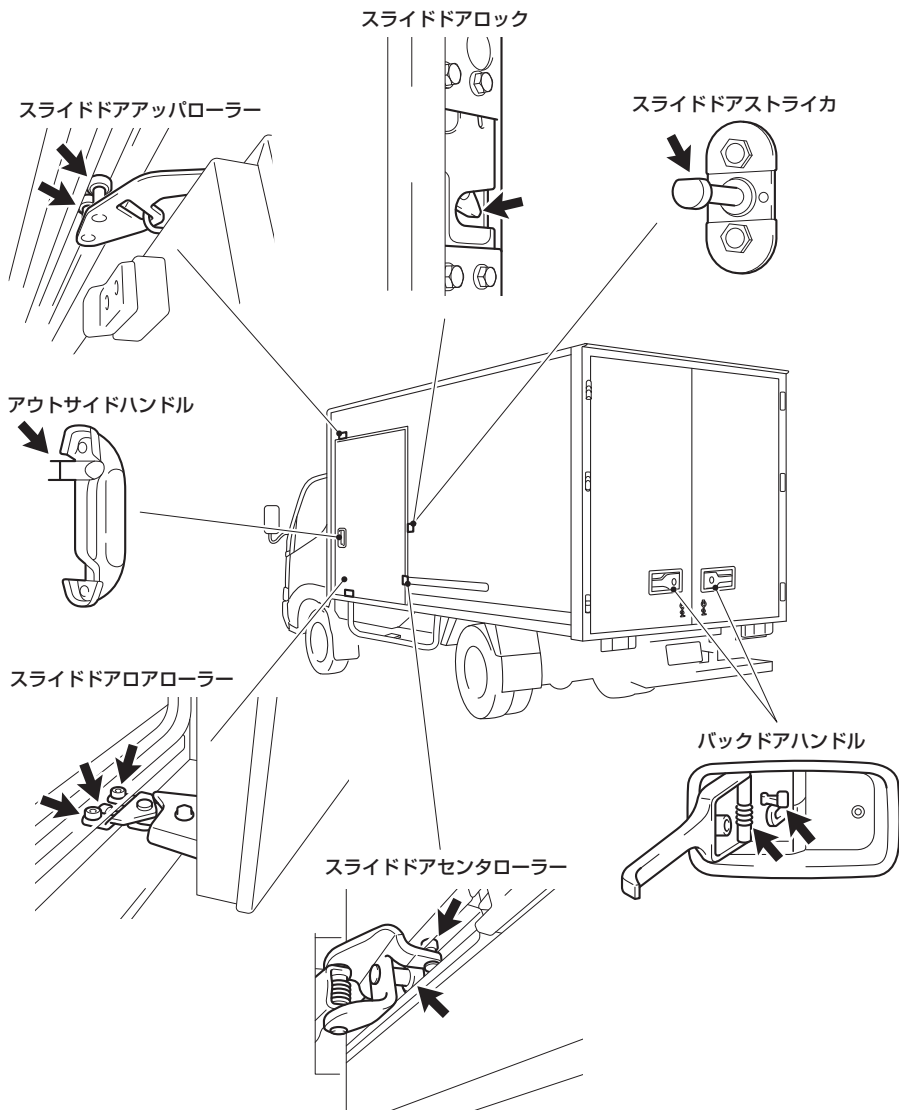
■ 給油について

泥、ほこりがなどが付着すると、開閉時に異音が発生する場合があります。シャッターカーテンとガイドレールのすき間に市販のシャッターオイルをスプレーしてください。(オイルが付きすぎた場合はふき取ってください)

給油脂

3 か月に一度の割合で下記の箇所にグリースを塗布してください。

ダブル（シングル）ハンドル内蔵式バックドア部
スライド式サイドドア部

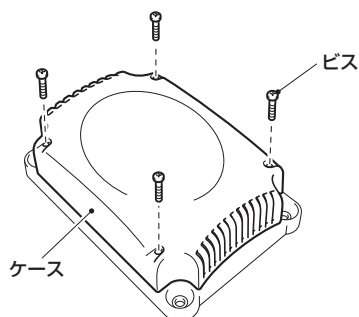


オゾン式脱臭装置の触媒の交換

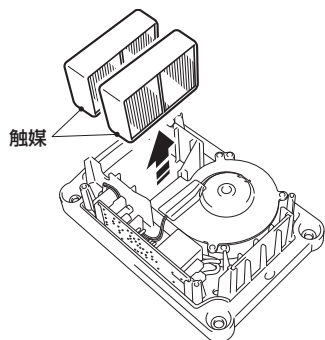
触媒を車両をお求めになった販売店にお申しつけください。

品番	品名
10990-X0A76 製造元：エース産業株式会社	オゾンフレッシュミニ 触媒セット (厚さ 30mm と 20mm の 2 種類の触媒が 1 枚ずつ入っています)

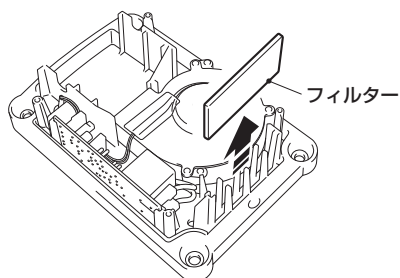
■交換手順



- ① ケースを止めているビス（4本）を取りはずします。



- ② 触媒（2個セット）を取りはずし、新しい触媒をセットします。



- ③ フィルターを取りはずし、中性洗剤で洗い、よく乾燥させた後、元の位置に取り付けます。

- ④ ケースをビス（4本）で止めます。

簡単な点検

作業灯

24V 車.....	24V/35W
12V 車.....	12V/35W

スライドドアローラーの点検

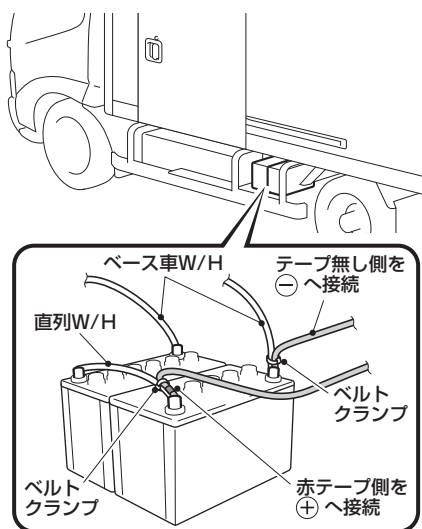
12 か月ごとに各スライドドアローラー（35 ページ参照）の点検をしてください。

- 割れ、欠損がないことを確認してください。

バッテリーの交換

スライド式サイドドア装着の 24V 車

スライド式サイドドア用イージークローザーの電源は、バッテリーから直接取っています。（12V で作動します）
バッテリー交換するときは、必ず左図の通りに接続してください。



知識

必ず左図のように接続してください。
接続を誤るとイージークローザーが作動しなくなります。

- 配線のクランプは誤った接続を防止するために設けられていますので、クランプは絶対にはずさないでください。

冷凍車／保冷車／クーリング車

適用車種

トヨタ ダイナ、日野 デュトロ



車両の仕様等の変更により本書の内容が車両と一致しない場合がありますのでご了承ください。

〈注文装備品のお問い合わせは下記へお願いいたします〉

商用ビジネス部

TEL (0566) 36-2497 FAX (0566) 36-2498